

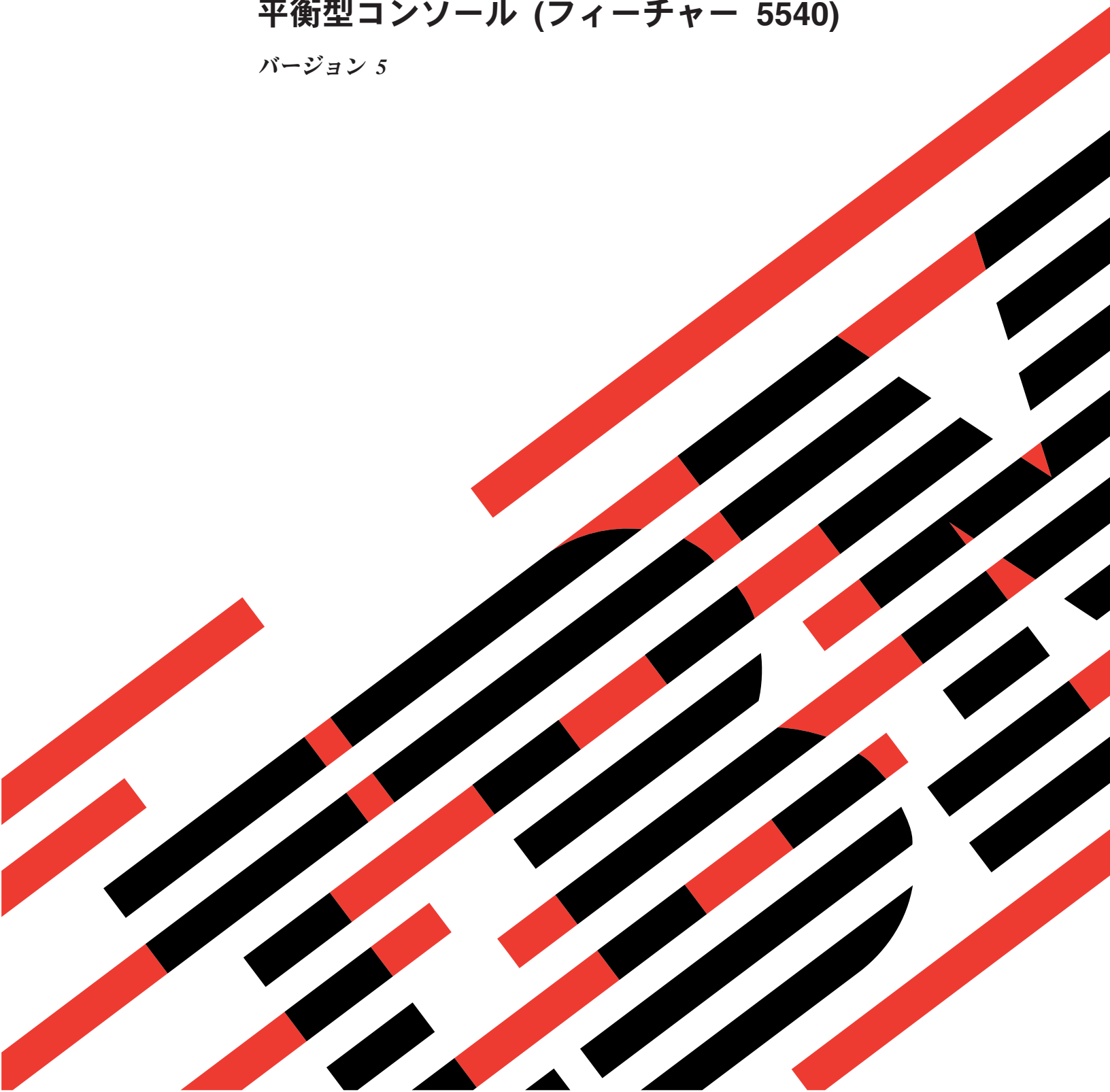
IBM

@server

iSeries 270/8xx

システム装置のアップグレード:  
オペレーション・コンソールから  
平衡型コンソール (フィーチャー 5540)

バージョン 5







@server

iSeries 270/8xx

**システム装置のアップグレード:  
オペレーション・コンソールから  
平衡型コンソール (フィーチャー 5540)**

バージョン 5

© Copyright International Business Machines Corporation 2000, 2003. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2002

---

# オペレーション・コンソールから平衡型コンソールへのアップグレード

---

## はじめる前に

このフィーチャーは、ユーザー自身でインストールすることができます。ユーザー自身で行わない場合、このフィーチャーのインストール作業を IBM® または IBM 特約店に有料で依頼することもできます。

ユーザーのジョブを完了し、システムのバックアップを取り、システムの初期プログラム・ロード (IPL) を実行して、ハードウェア構成を検査するために時間がさらに必要になります。

本書を使用して、以下の作業を行うことができます。

- システム装置カバーを取り外す。
- 新しいハードウェアを取り付ける。
- カバーを取り付ける。
- オペレーティング・システムを初期プログラム・ロード (IPL) する。
- 新しいハードウェア構成を検査する。

これらの説明中の図は、ご使用のシステム装置と少し異なる場合もあります。ただし、作業を実行する手順は同じです。

- \_\_\_ 1. システム (オペレーティング・システム、ライセンス・プログラム、およびデータを含む) の最新バックアップが手元にあることを確認します。
- \_\_\_ 2. 手順全体に目を通して、一連の手順を理解してください。
- \_\_\_ 3. 部品が正しくなかったり、欠落している、あるいは外観上損傷がある場合には、以下にご連絡ください。
  - IBM 特約店
  - IBM 営業担当員
    - 1-800-300-8751 (米国)
    - 1-507-253-5242 (全世界共通)
- \_\_\_ 4. インストール中に不都合が生じた場合は、認可されたサービス提供元または特約店に連絡してください。
- \_\_\_ 5. 新しいフィーチャーをインストールする前に、PTF 前提条件があるかどうかを確認してください。次の Web サイトにアクセスします。

<http://www-912.ibm.com/supporthome.nsf/document/10000051>

  - a. 「**All Documents**」を選択します。
  - b. 「**Collapse**」を選択します。
  - c. 「**General Information**」を選択します。
  - d. 「**Offerings**」を選択します。
  - e. 「**Feature Prerequisites**」を選択します。

- f. 「**Customer Install Features Prerequisites**」を選択します。
- g. この製品のフィーチャー番号と OS/400<sup>®</sup> リリースを見つけて、前提条件を調べます。

---

## システム装置の電源オフ

- \_\_ 1. すべてのジョブが完了していることを確認します。
- \_\_ 2. すべてのジョブが完了したら、コマンド行に `pwrwnsys *immed` と入力して、実行キーを押します。

注: インストール中に不都合が生じた場合は、特約店またはサービス提供元に連絡してください。

- \_\_ 3. システム装置の電源が完全に遮断されたら、すべての PC をシステム装置から外します。システム装置に接続されているすべての装置 (印刷装置や表示装置など) の電源をオフにします。
- \_\_ 4. すべての電源コード・プラグ (印刷装置や表示装置などの) を電源コンセントから取り外します。
- \_\_ 5. システム装置の電源コード・プラグおよび接続されている拡張機構の電源コード・プラグを電源コンセントから取り外します。
- \_\_ 6. システム装置カバーの取り外しについては、**11** ページの『カバーの取り外し』を参照してください。
- \_\_ 7. 静電気の放電により装置が損傷しないように、使い捨てリスト・バンドを着用します。フォイルの粘着側を、装置のフレームの未塗装面に取り付けます。

注:

- a. リスト・バンドなしで使用する場合と同じ予防措置を行います。2209 使い捨てリスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用したからといって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。
- b. リスト・バンドを広げる時は、末端に付いている銅フォイルの裏打ちシールを取り除きます。
- c. 銅フォイルを、装置のフレームの露出した、塗装されていない金属面に貼り付けます (アース)。

---

## 2746 ワークステーション・アダプター・カードのインストール

- \_\_ 1.

### 危険

接地 (アース) の異なる 2 つの面に触って感電事故が起きることのないように、可能であれば、片手で信号ケーブルの接続または切り離しを行ってください。(RSFTD004)

- \_\_ 2. ネットワーク上のローカル・コンソール (LAN コンソール) を使用する場合は、コンソールのネットワーク・ケーブルを取り外します。

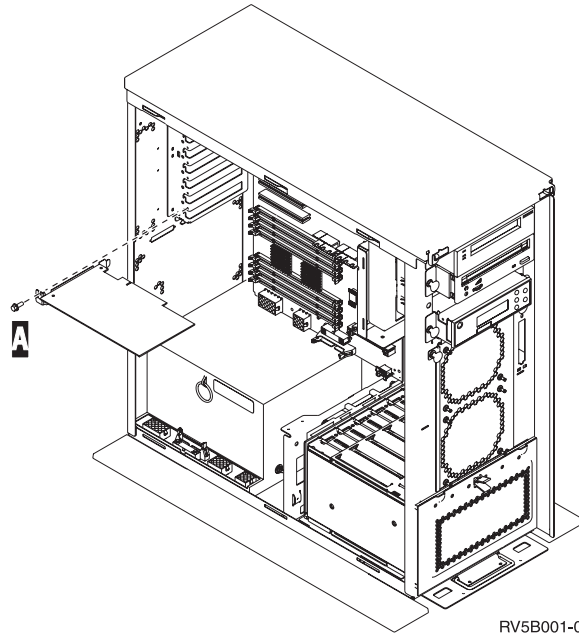
- \_\_\_ 3. 直接接続されたローカル・コンソールを使用する場合は、次のいずれかの位置のカードに接続されたオペレーション・コンソール・ケーブルを取り外します。
  - **270 または 810 システム装置**の場合は、位置 C07。詳しくは 17 ページの『構成テーブル』を参照してください。
  - **820 システム装置**の場合は、位置 C06。詳しくは 17 ページの『構成テーブル』を参照してください。
  - **825 システム装置**の場合は、位置 C07。詳しくは 17 ページの『構成テーブル』を参照してください。
  - **830、840、SB2、SB3 システム装置**の場合は、位置 C02。詳しくは 17 ページの『構成テーブル』を参照してください。
  - **870 または 890 システム装置**の場合は、位置 C02。詳しくは 17 ページの『構成テーブル』を参照してください。
- \_\_\_ 4. 次の位置のいずれかに 2746 カードがインストールされていますか？
  - **270 または 810 システム装置: C06**
  - **820 システム装置: C04 または C11**
  - **825 システム装置: C07**
  - **830、840、SB2、SB3 システム装置: C04、C06、C07、C09、または C10**
  - **870 または 890 システム装置: C04、C06、C07、C08、または C09**
  - \_\_\_ いいえ: 次のステップに進みます。
  - \_\_\_ はい: 6 ページの『平衡型ケーブル接続機構と平衡型コンソール・ケーブルの接続』に進みます。
- \_\_\_ 5. システム装置からカードを取り外す前に、取り外したカードをインストールできる空いた位置が別のところにあるか確認する必要があります。

PCI カード域を見てください。空いた位置がありますか？

  - \_\_\_ はい: *iSeries* 内でのカードの移動については、*Information Center* の『PCI カードのインストール』を参照してください。
  - \_\_\_ いいえ: カードの配置の決定は、以下を利用して行ってください。
    - *Information Center* のPCI カードのインストールに進みます。
    - 認可されたサービス提供元か、特約店に連絡します。
- \_\_\_ 6. **重要:** アダプター・カードは壊れやすいので注意してください。取り扱う場合はリスト・バンドを使い、持つときは端を持ち、プリント回路部分には触らないようにしてください。
- \_\_\_ 7. 次のどちらかの位置に、新しい 2746 アダプター・カードをインストールします。
  - **270 システム装置: C06**
  - **810 システム装置: C07**
  - **820 システム装置: C04 または C11**
  - **825 システム装置: C06**
  - **830、840、SB2、SB3 システム装置: C04、C06、C07、C09、または C10**

• 870 または 890 システム装置: C04、C06、C07、C08、または C09

\_\_ 8. カードを固定するねじが装置に付いていますか?



\_\_ いいえ: 次のステップに進みます。

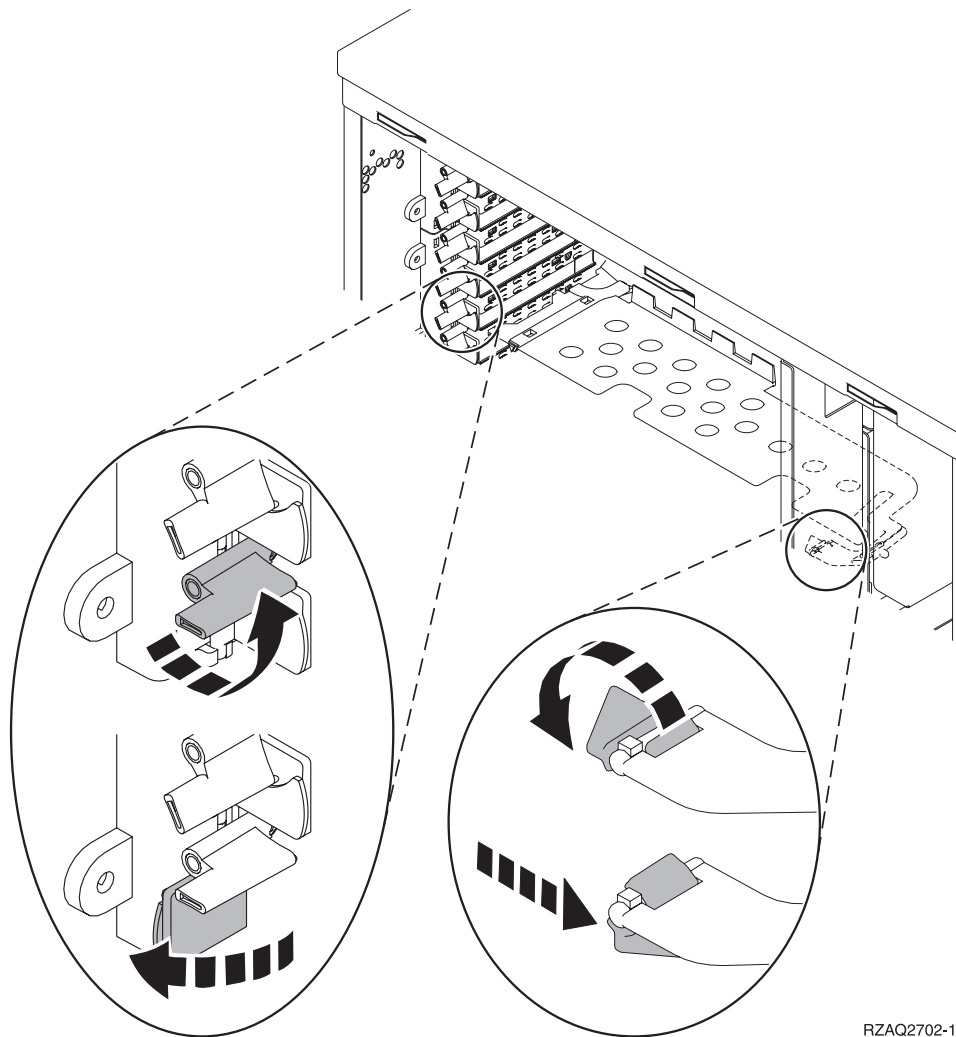
\_\_ はい: カードをインストールしようとしているカード位置からねじを取り外します。

\_\_ ステップ 11 (6 ページ) に進みます。

\_\_ 9. 装置にはカードを固定するためのカード・ラッチがあります。

\_\_ 10. カードの取り付けを行うカード位置にあるラッチを開けます。ラッチを左回りに動かし、黒いラッチを外側に回します。





RZAQ2702-1

図1. 270、810、820、825、5075 カード・ラッチの例

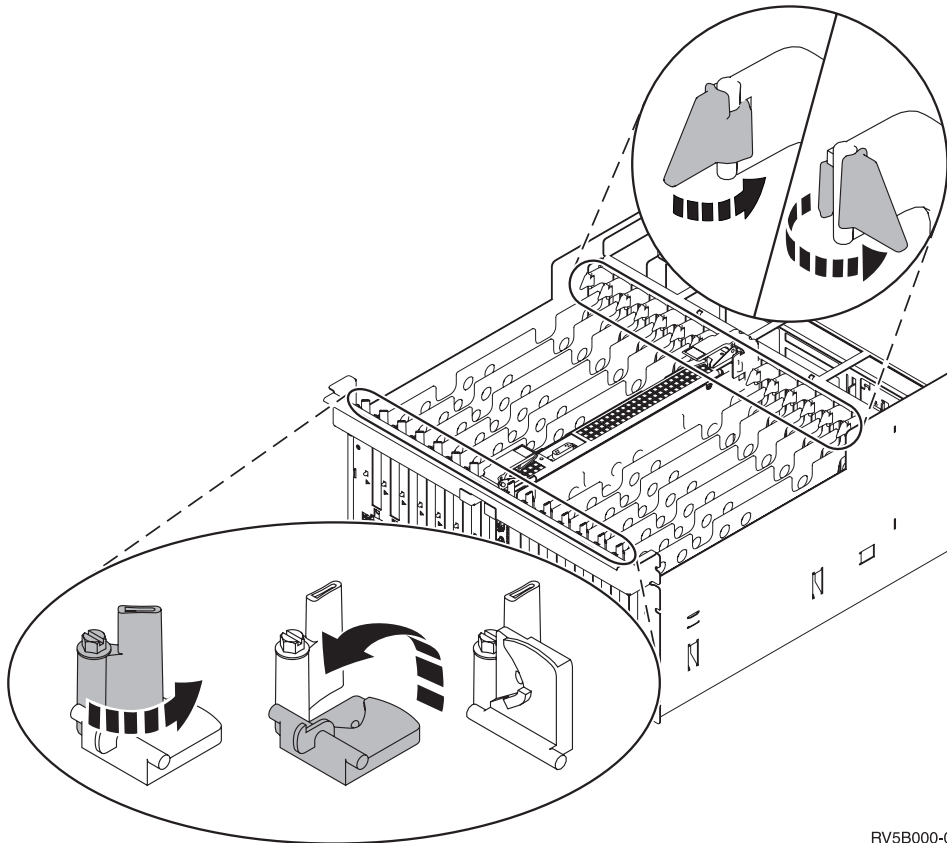


図 2. 830、840、870、890、SB2、SB3、5079 カード・ラッチの例

- \_\_ 11. カードのフィラー・プレートを取り外します。
- \_\_ 12. **重要:** アダプター・カードは壊れやすいので、以下の点に留意してください。
  - ・ 取り扱う際には端だけを持つ
  - ・ プリント回路部分には指を触れない
  - ・ 取り扱う際には静電気防止用リスト・バンドを着用する
  - ・ 取り付ける用意ができるまで保護用パッケージに入れておく
- \_\_ 13. 新しいアダプター・カードを、システム装置内のカード・ホルダーの位置に合わせ、しっかり接続されるまで押し込みます。
- \_\_ 14. 黒いラッチを内側に回し、もう一つのラッチを右回りに動かすか、ねじを取り付けてカードを固定します。
- \_\_ 15. 『平衡型ケーブル接続機構と平衡型コンソール・ケーブルの接続』に進みます。

## 平衡型ケーブル接続機構と平衡型コンソール・ケーブルの接続

- \_\_ 1. 8 ポート平衡型ケーブル接続機構、部品番号 **21F5093** を用意し、ケーブルにラベル (**C06 など**) を付けます。
- \_\_ 2. 8 ポート平衡型ケーブル接続機構を 2746 カードのコネクターに接続します。

**注:** 8ポート接続ケーブルの各ポートは7台の装置をサポートするので、56台までの装置を接続できますが、活動中にすることができるのはそのうち40台だけです。

- \_\_ 3. システム装置に接続して、コンソールとして使用するワークステーションまたはパーソナル・コンピューター (PC) をセットアップします。

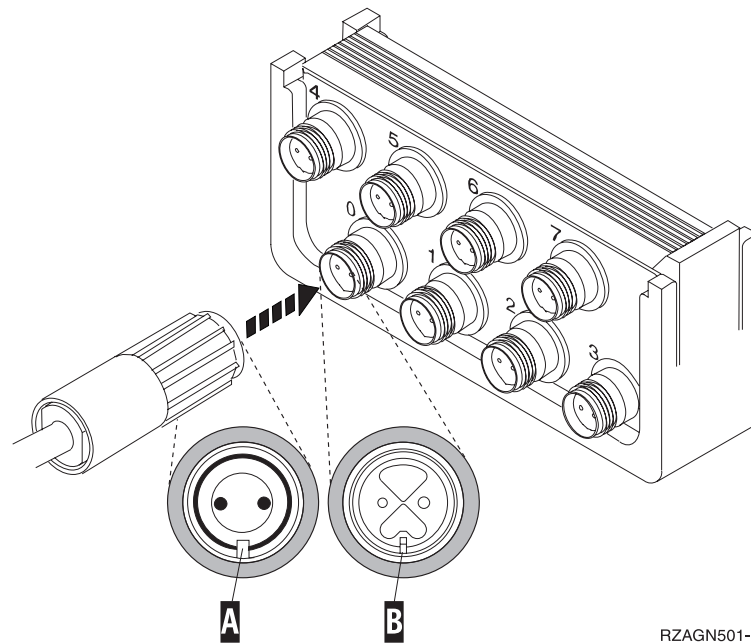
**注:**

- a. システム装置コンソールとして使用するワークステーションまたは PC は、システム装置から 6メートル以上離さないでください。
- b. セットアップには、そのワークステーションまたは PC に付属の説明に従ってください。

- \_\_ 4. 平衡型ケーブルを用意し、「コンソール・ケーブル」とラベルを付けます。

- \_\_ 5. 8ポート平衡型ケーブル・コネクタのポート **0** のキー **B** を、平衡型ケーブル (図3) 接続機構のスロット **A** に合わせます。

外側のリングを押し入れ、そのまま支えて回し、締めます。



RZAGN501-0

図3. システム装置コンソール・ケーブルの接続場所

- \_\_ 6. 平衡型コンソール・ケーブルのもう一方の端を、システム装置コンソールの PC かワークステーションに接続します。

**注:** コンソールのワークステーション・アドレスは、**0** に設定する必要があります。アドレスを設定する方法については、その装置に付属している資料を参照してください。

- \_\_ 7. 側面カバーと背面カバーを取り付けます。

## 危険

電源コンセントの配線に誤りがあると、システムまたはシステムに接続されている装置の金属部分に高い電圧がかかり危険になりかねません。感電事故防止のため、電源コンセントを正しく配線しコンセントの接地端子を正しく接地する（アース）工事はユーザーの責任で行っていただきます。(RSFTD201)

以下の電源コードのプラグを電源コンセントに差し込みます。

- システム装置

**注:** この時点でシステム装置の電源をオンにしないでください。

- システム装置コンソール

---

## インストールの完了

- 1. システム装置コンソールである PC またはワークステーションの電源をオンにします。
- 2. システム装置は 270/810 または 820/825 のどちらですか?
  - **270 または 810:** 次のステップに進みます。
  - **820、825、830、840、SB2、SB3、870 または 890:** ステップ 5 (9 ページ) に進みます。
- 3. 制御パネルの「機能/データ」画面を見てください。
- 4. 「機能/データ」画面に **01 B M V=S** と表示されていますか?
  - **はい:** ステップ 7 (9 ページ) に進みます。
  - **いいえ:** 以下の作業を行います。
    - a. 「機能/データ」画面に **02** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - b. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
    - c. 「機能/データ」画面に **B** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - d. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
    - e. 「機能/データ」画面に **M** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - f. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
    - g. 「機能/データ」画面に **S** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - h. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
    - i. 「機能/データ」画面に **01** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - j. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。  
「機能/データ」画面に **01 B M S** と表示されます。表示されない場合は、ステップ 4a ~ 4i を繰り返します。

- \_\_ k. ステップ 7 に進みます。
- \_\_ 5. 制御パネルの「機能/データ」画面を見てください。
- \_\_ 6. 「機能/データ」表示パネルに **01 B V=S** が表示されて、手動モード標識 (小さい手) が点灯しましたか？
  - \_\_ はい: 次のステップに進みます。
  - \_\_ いいえ: 以下の作業を行います。
    - \_\_ a. 手動モード標識 (小さい手) が点灯するまで、「モード選択」ボタンを押します。
    - \_\_ b. 「機能/データ」画面に **02** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ c. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
    - \_\_ d. 「機能/データ」画面に **B** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ e. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
    - \_\_ f. 「機能/データ」画面に **S** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ g. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
    - \_\_ h. 「機能/データ」画面に **01** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ i. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。  
「機能/データ」表示パネルに **01 B S** と表示され、手動モード標識 (小さい手) が点灯するはずですが、このように表示されない場合は、ステップ 6a ~ 6h を繰り返します。
    - \_\_ j. ステップ 7 に進みます。
- \_\_ 7. システム装置の「電源」押しボタンを押します。「電源オン」ライトが点灯します。

注: 電源オンおよび IPL が完了すると、システム装置のコンソールに「システムの IPL または導入」画面が表示されます。

- \_\_ 8. 「システムの IPL または導入」画面から「専用保守ツール (DST) の使用」を選択します。  
実行キーを押します。
- \_\_ 9. 「専用保守ツール (DST) サインオン」画面で、**保守ツールのユーザー ID および保守ツールのパスワード**を入力します。  
実行キーを押します。
- \_\_ 10. 「専用保守ツール (DST) の使用」画面から「**DST 環境の処理**」を選択します。  
実行キーを押します。
- \_\_ 11. 「DST 環境の処理」画面から「**システム装置**」を選択します。  
実行キーを押します。
- \_\_ 12. 「システム装置の処理」画面から、「**コンソール・モード**」を選択します。  
実行キーを押します。
- \_\_ 13. 「コンソール・タイプの選択」画面から「**平衡型**」を選択します。

実行キーを押します。

- \_\_ 14. F3 (終了) を 1 回押します。
- \_\_ 15. 「専用保守ツール (DST) の使用」画面から「**IPL の実行**」を選択します。  
実行キーを押します。
- \_\_ 16. システム装置にサインオンします。保守権限をもっているか確認してください。
- \_\_ 17. 「メイン・メニュー」のコマンド行に **strsst** と入力します。  
実行キーを押します。
- \_\_ 18. 「システム保守ツール (SST)」画面で、「**保守ツールの開始**」を選択します。  
実行キーを押します。
- \_\_ 19. 「**保守ツールの開始**」画面で、「**ハードウェア保守管理機能**」を選択します。実行キーを押します。
- \_\_ 20. 「**ハードウェア保守管理機能**」画面から「**パッケージ・ハードウェア資源 (システム、フレーム、カード...)**」を選択します。実行キーを押します。
- \_\_ 21. 「システム装置」行に **9** と入力します。
- \_\_ 22. 必要に応じて Page Down キーを押して、「**カードの位置**」列を探します。
- \_\_ 23. インストールまたは移動したカードが、そのインストール位置に表示されているか確認します。
- \_\_ 24. これでフィーチャーのアップグレードは完了です。
- \_\_ 25. F3 を 3 回押して実行キーを押し、「メインメニュー」に戻ります。

---

## カバーの取り外し

作業する装置の図を参照してください。

- 『270、810、または 820 システム装置』
- 13 ページの『830、840、870、890、SB2、SB3、5074、5079、および 5094 装置』
- 14 ページの『ラック内の装置へのアクセス』

---

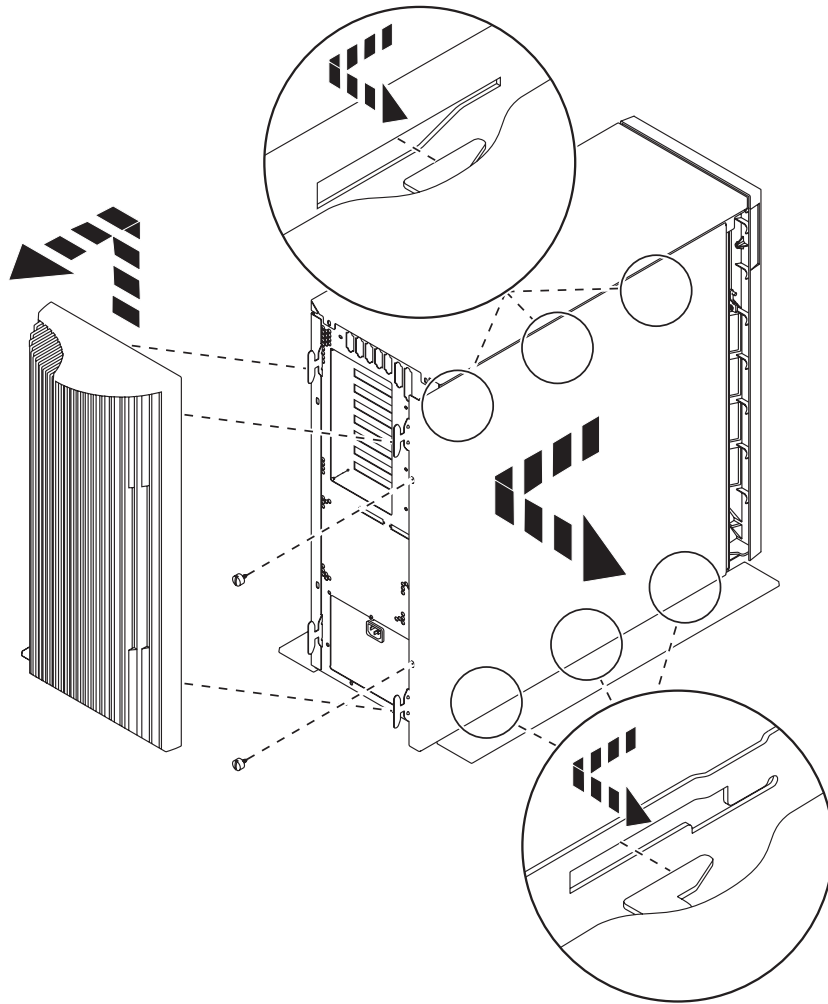
### 270、810、または 820 システム装置

PCI カード位置を見つけるには、背面カバーともしあれば側面カバーを取り外す必要があります。

- 1. 背面カバーの下部を持ち、上に持ち上げて取り外します。
- 2. **重要:** 電源をオンにしたまま側面カバーを取り外すと、電磁障害のためにエラーが起こる場合があります。

つまみねじを緩め、カバーを前から後ろへ止まるまでスライドさせて、右側面カバー (背面から見て) を取り外します。

- 3. カバーを引き出します。



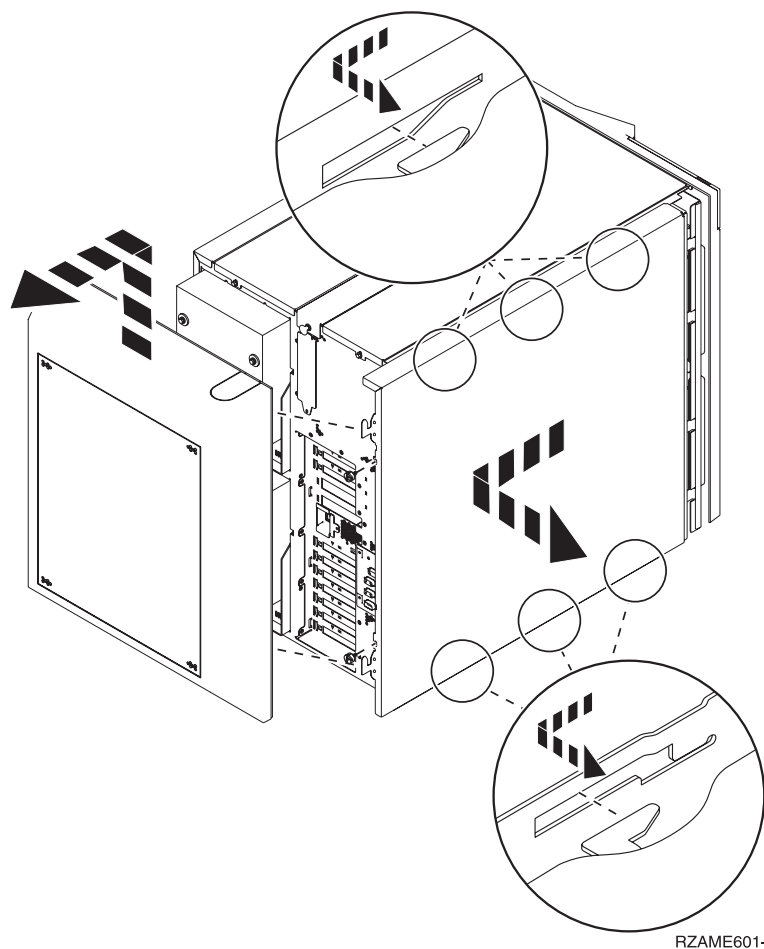
RZAQ2517-0

## 825 システム装置

PCI カード位置を見つけるには、背面カバーと側面カバーを取り外す必要があります。

- \_\_ 1. 背面カバーの下部を持ち、上に持ち上げて取り外します。
- \_\_ 2. つまみねじを緩め、カバーを前から後ろへ止まるまでスライドさせて、右側面カバー（背面から見て）を取り外します。
- \_\_ 3. カバーを引き出します。



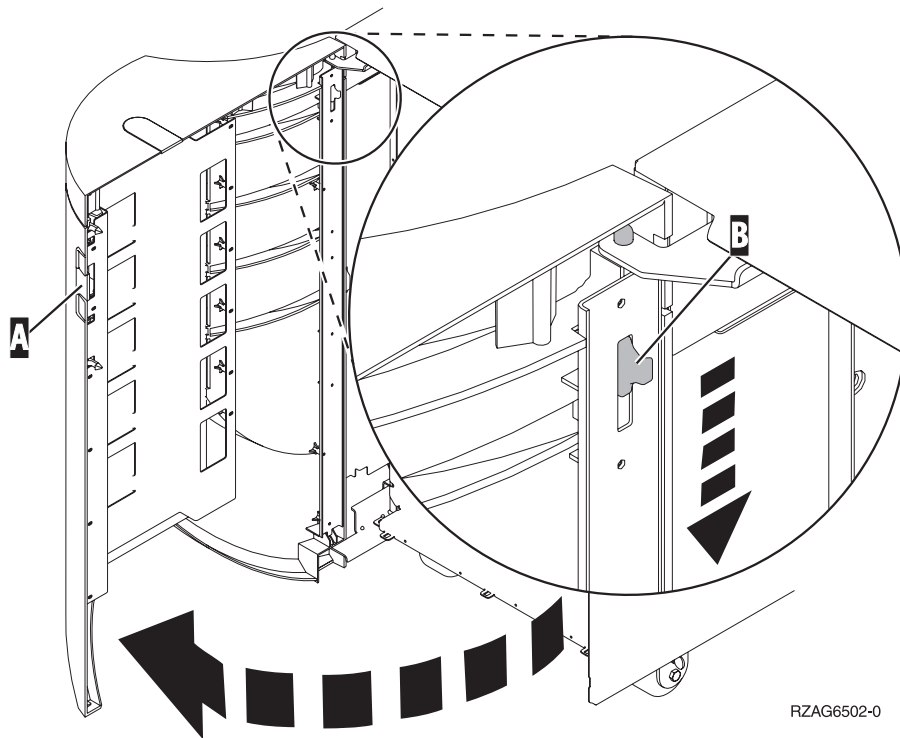


RZAME601-0

## 830、840、870、890、SB2、SB3、5074、5079、および 5094 装置

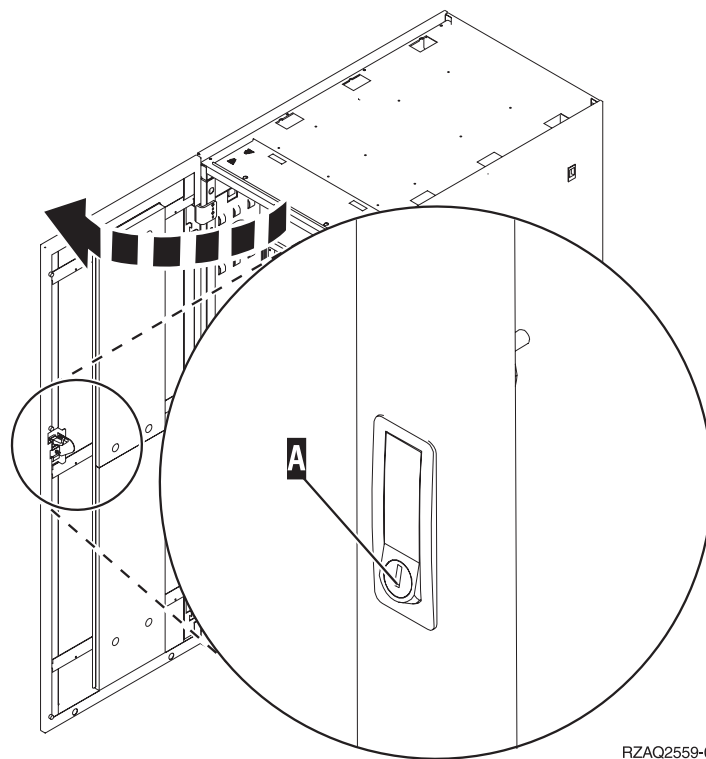
PCI カード位置に届くようにするには、背面カバーを開ける必要があります。

- **A** 背面カバーを開けます。
- **B** 背面カバーを取り外します。
- PCI カード・アクセス・プレートを取り外します。

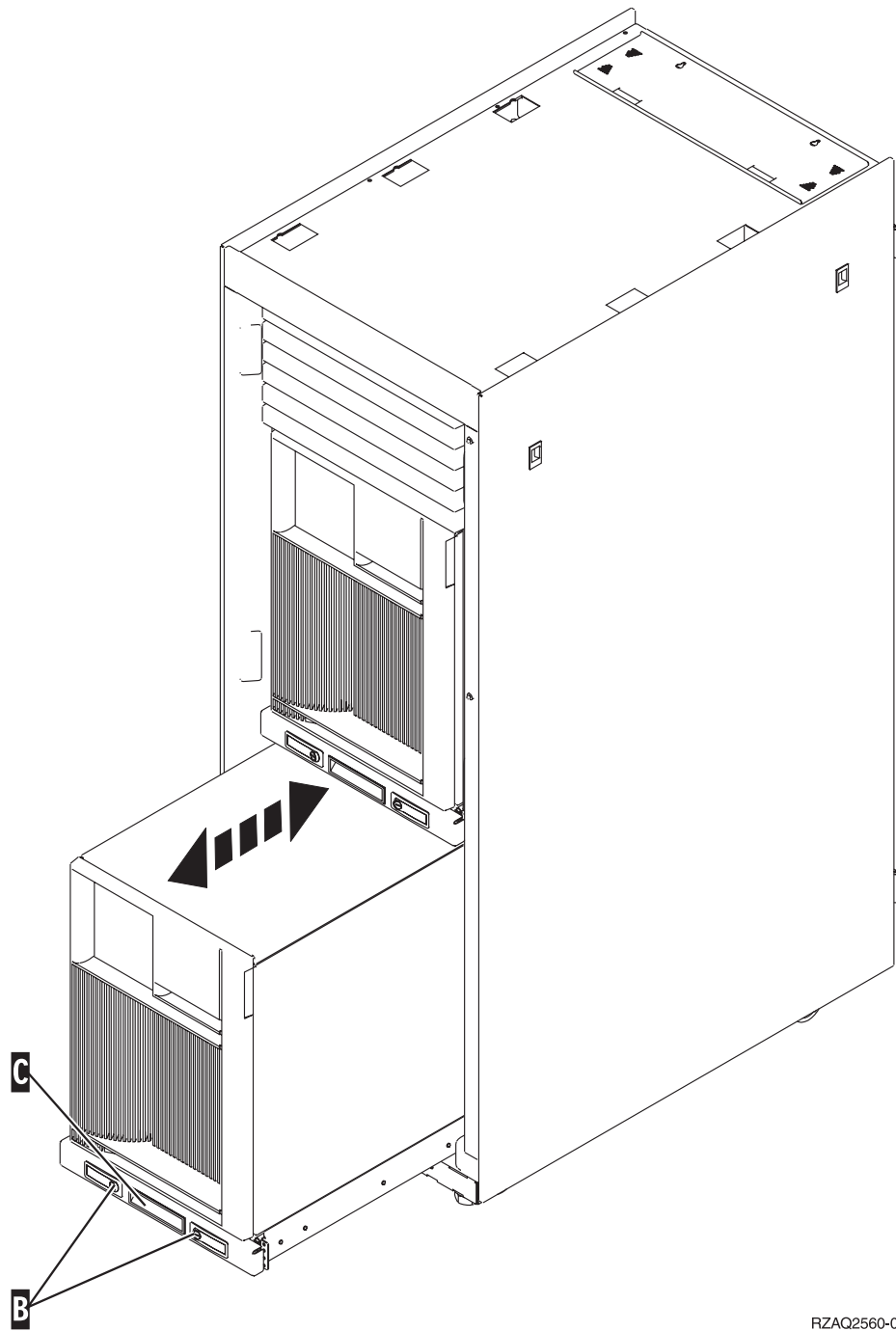


## ラック内の装置へのアクセス

1. ラックの背面に回り、ラッチ **A** を押してラック背面の扉を開けます。



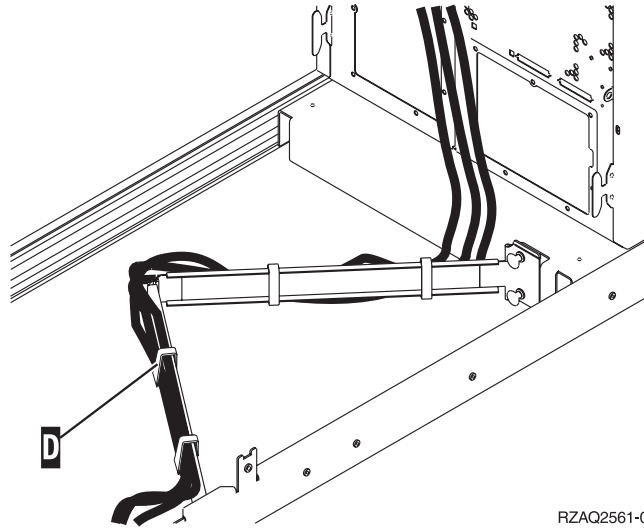
2. ラッチ **B** を押し、ハンドル **C** を使ってサーバーを引き出します。



RZAQ2560-0

3. 前出の装置の図を参照して、側面カバーを取り外します。

4. サーバーの配線を行う場合、ケーブル管理アーム **D** に沿って余分な配線を送り、ファスナーでケーブルを固定します。



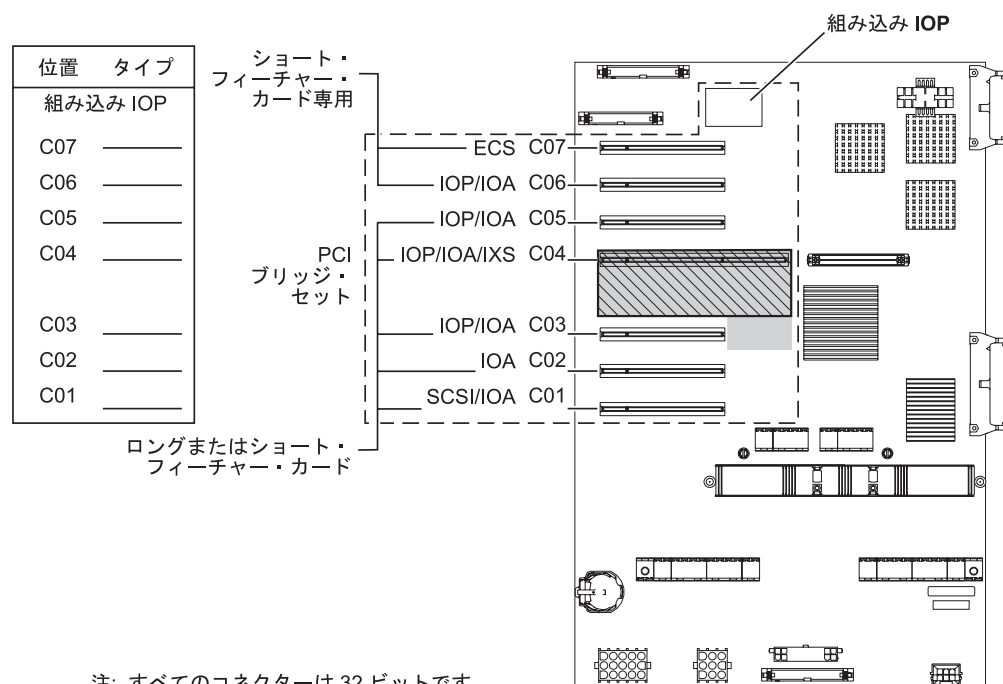
RZAQ2561-0

## 構成テーブル

ご使用の装置の個所を参照してください。

- 『270 および 810 システム装置』
- 18 ページの『820 システム装置』
- 19 ページの『825 システム装置』
- 19 ページの『830、840、SB2、および SB3 システム装置』
- 20 ページの『870 および 890 システム装置』

## 270 および 810 システム装置

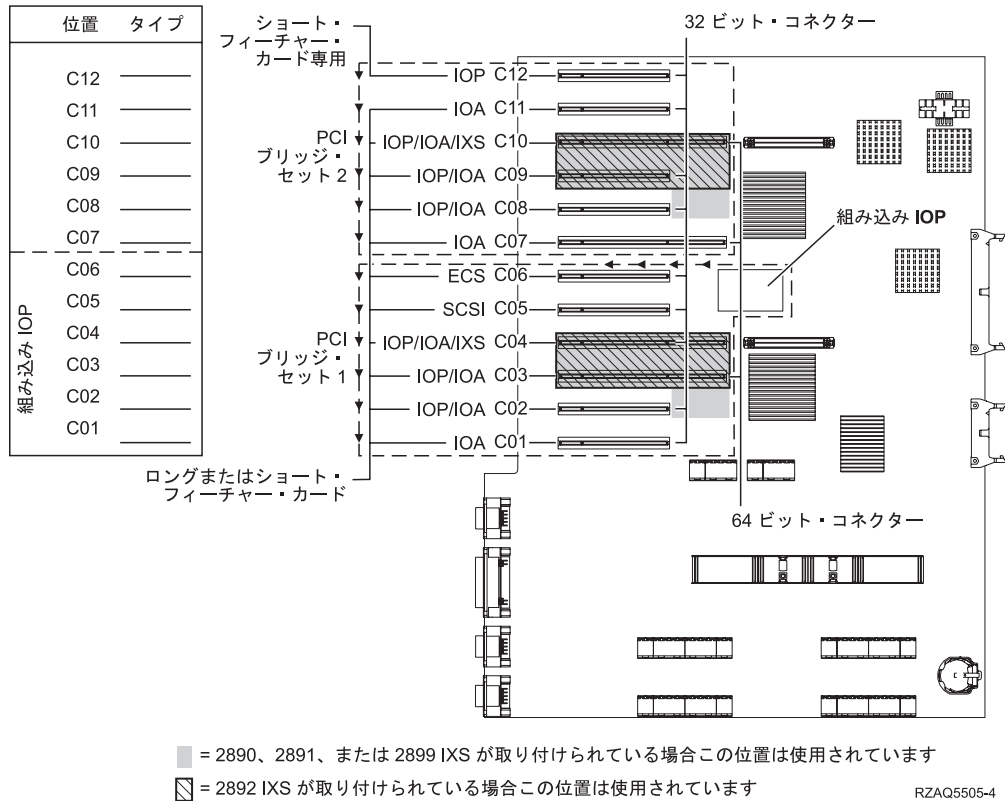


RZAQ5504-4

- 組み込み IOP は、位置 C07、C01、そして場合によっては C06 と C05 を制御します。
- IOP は、IOP の下にある位置の IOA を制御します。たとえば、C04 の IOP は C03 と C02 の IOA を制御します。
- 図の中で、SCSI は最初の内蔵磁気ディスク制御機構の位置 (カード 2757、2763、2782、4748、4778、5705、または 9767) を示しています。(9767 は、270 装置のみです。) 最初のディスク制御機構カードは C01 に入れ、ロード・ソース磁気ディスク機構内蔵テープおよび CD-ROM または DVD を接続する必要があります。

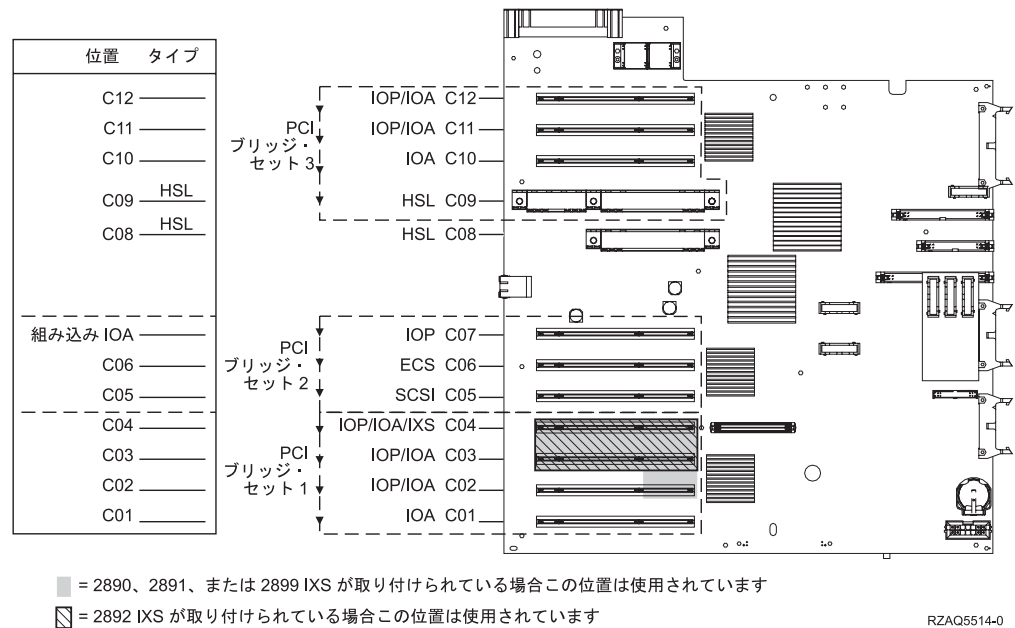
- 7104 または 7116 拡張機構を接続した 270 および 810 システム装置には、2 番目の 2757、2763、2782、4748、または 4778 が許可されています。

## 820 システム装置



- 組み込み IOP は、C06、C05、そして場合によっては C04 と C03 を制御します。
- IOP は、PCI ブリッジ・セット内で矢印の方向に IOA を制御します。
- 図の中で、SCSI は最初の内部磁気ディスク制御機構の位置を示しています。IOA 2757、2763、2782、4748、4778、または 9767 は、位置 C05 に配置します。最初のディスク制御機構カードは C05 に入れ、ロード・ソース磁気ディスク機構内蔵テープおよび CD-ROM または DVD を接続する必要があります。
- 1 台の 820 システム装置ごとに 2 つの内部磁気ディスク機構コントローラーが許可されます。
- システム装置内に 2 台目の内蔵磁気ディスク制御機構を入れられるのは、取り外し可能ケーブル保存メカニズムがインストールされている場合だけです。
- 2 台目の内蔵磁気ディスク制御機構をカード位置 C07 または C08 に入れることはできません。

## 825 システム装置

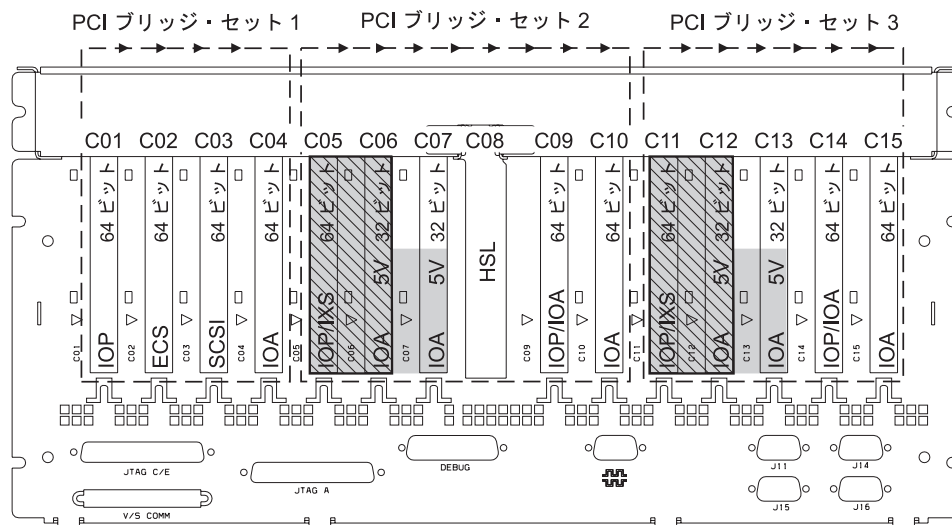


- IOP は C06、C05 を制御します。
- IOP は、PCI ブリッジ・セット内で矢印の方向に IOA を制御します。
- 図の SCSI は最初の内部磁気ディスク制御機構 (カード 2757、2763、2782、4748、4778) の位置を示しています。最初のディスク制御機構カードは C05 に入れ、ロード・ソース磁気ディスク機構内蔵テープおよび CD-ROM または DVD を接続する必要があります。
- 1 台の 825 システム装置ごとに 3 つの内部磁気ディスク制御機構が許可されません。

## 830、840、SB2、および SB3 システム装置

- IOP は、PCI ブリッジ・セット内で矢印の方向に IOA を制御します。
- 図の中で、SCSI は最初の内部磁気ディスク制御機構の位置 (カード 2757、4778、4748、9748、または 9778) を示しています。最初のディスク制御機構カードは C03 に入れ、ロード・ソース磁気ディスク機構内蔵テープおよび CD-ROM または DVD を接続する必要があります。
- また、830 または 840 システム装置では、追加のディスク制御機構を 2 つ入れられます。

- SB2 および SB3 システム装置では、追加の磁気ディスク制御機構は使用できません。



■ = 2890、2891、または 2899 IXS が取り付けられている場合この位置は使用されています

▨ = 2892 IXS が取り付けられている場合この位置は使用されています

注: ロングまたはショート・フィーチャー・カードはどの位置でも取り付けすることができます

位置	タイプ
C01	
C02	
C03	
C04	
C05	
C06	
C07	
C08	HSL
C09	
C10	
C11	
C12	
C13	
C14	
C15	

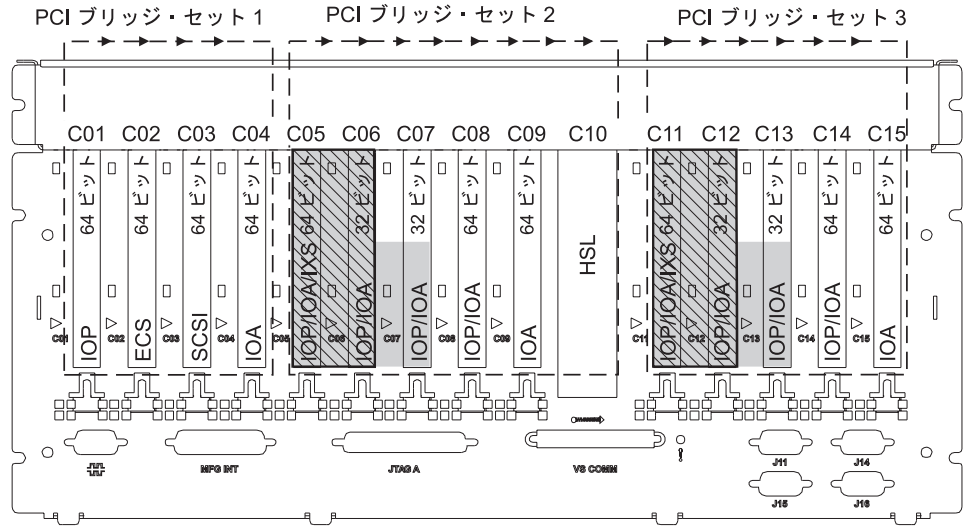
RZAQ5506-5

## 870 および 890 システム装置

- IOP は、PCI ブリッジ・セット内で矢印の方向に IOA を制御します。
- 図の中で、SCSI は最初の内部磁気ディスク制御機構の位置 (カード 2757、4778、4748、9748、または 9778) を示しています。最初のディスク制御機構カードは C03 に入れ、ロード・ソース磁気ディスク機構内蔵テープおよび CD-ROM または DVD を接続する必要があります。
- また、830 または 840 システム装置では、ディスク制御機構を 2 つ入れられます。



- SB2 および SB3 システム装置では、追加の磁気ディスク制御機構は使用できません。



■ = 2890、2891、または 2899 IXS が取り付けられている場合この位置は使用されています

▨ = 2892 IXS が取り付けられている場合この位置は使用されています

注: ロングまたはショート・フィーチャー・カードはどの位置でも取り付けすることができます

位置	タイプ
C01	
C02	
C03	
C04	
C05	
C06	
C07	
C08	
C09	
C10	HSL
C11	
C12	
C13	
C14	
C15	

RZAQ5511-0



## システム装置の制御パネル

iSeries システム装置の前面にある、制御パネルの扉を開きます。

制御パネルの外観は、図4、または 24 ページの図5 のようになっています。ご使用の装置の制御パネルを確認してください。

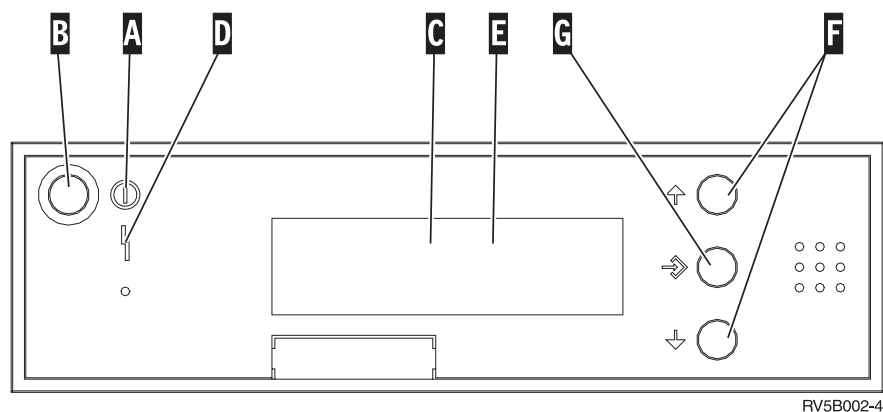
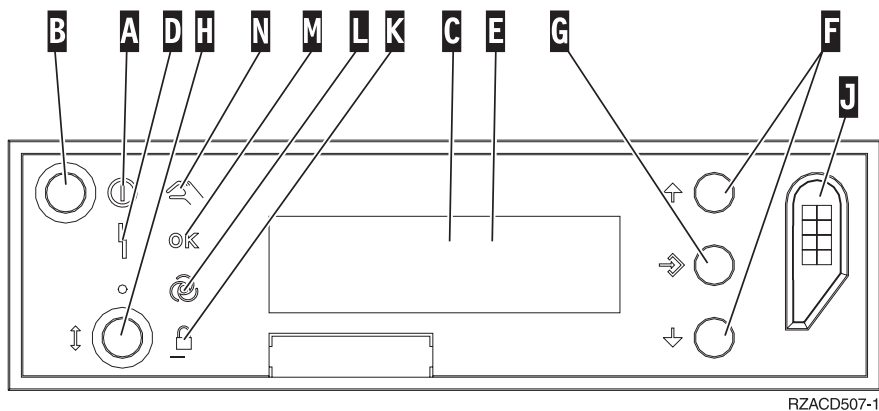


図4. 電子キースティックのない制御パネル

以下は、図4 にある各部の説明です。

- A** 「電源オン」ライト
  - ライトが明滅しているときは、装置に電源が供給されています。
  - ライトが点灯しているときは、装置は作動中です。
- B** 「電源」押しボタン
- C** 処理活動状態
- D** 「システム・アテンション」ライト
- E** 「機能/データ」表示パネル
- F** 「増/減」ボタン
- G** 「機能開始」押しボタン

制御パネルが 24 ページの図5 のようになっている場合、**F** の「増/減」ボタンと **G** の「実行」押しボタンを使用するには、先に **H** の「モード選択」ボタンを押して、手動モード **N** を選択しておく必要があります。



RZACD507-1

図5. 電子キースティックのある制御パネル

- A** 「電源オン」 ライト
  - ライトが明滅しているときは、装置に電源が供給されています。
  - ライトが点灯しているときは、装置は作動中です。
- B** 「電源」 押しボタン
- C** 処理活動状態
- D** 「システム・アテンション」 ライト
- E** 「機能/データ」 表示パネル
- F** 「増/減」 ボタン
- G** 「機能開始」 押しボタン
- H** 「モード選択」 ボタン
- J** 電子キースティック・スロット
- K** ロック
- L** 自動
- M** 通常
- N** 手動





Printed in Japan